

平成 21 年 6 月 23 日

福生市長 加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

榎本 安希

島 弘

多比良 康彦

山西 年男

渡辺 良郎

## 独自目標監査報告書

LAS-E 独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時

平成 21 年 6 月 23 日(木) 10:00～

2. 監査対象

福生市役所

3. LAS-E 監査内容

**【独自目標（平成 20 年度実績）監査】**

① エコアクション(環境活動)部門	第 1 ステージ	A110
② エコマネジメント(環境経営)部門	第 1 ステージ	B110
③ エコガバナンス(環境自治)部門	第 1 ステージ	C107

#### 4. 監査結果

部門	平成 20 年度 数値目標	達成状況	部門評価
エコアクション部門	1 グリーン購入の達成率を、前年度に比べて、紙類 0.4%、自動車 6.8%高めます。(目標:紙類 97.6%以上、自動車 42.6%以上)	△	△
	(目標:紙類 97.6%以上)	(×)	
	(目標:自動車 42.6%以上)	(○)	
	2 コピー用紙の使用枚数を前年度より減らします。(目標:418万8千枚以下)	×	
	3 電気の使用量を予測される見込み使用量よりも減らします。(目標:6,450Mwh 以下 CO <sub>2</sub> 排出量:2,511,054 kg以下)	○	
	4 自動車利用によるガソリン・軽油の使用量を前年度より減らします。(目標:46,559 ㍓以下 CO <sub>2</sub> 排出量:115,639 kg以下)	○	
5 庁舎における可燃廃棄物の排出量を前年度より 2%減らします。(目標:1,604kg 以下)	○		
エコマネジメント部門	6 環境推進委員会を年 1 回以上、マネージャー会議を年 3 回以上開催します。	○	○
エコガバナンス部門	7 環境基本計画の進捗状況について、年 1 回以上公開します。	○	○

※ 達成状況: ○=達成、△=一部未達成、×=未達成

※ 評価: ○=良好、△=軽微だが改善すべき点あり、×=勧告に値すべき点あり

## 5. 所見

平成 20 年度の独自目標について監査した結果、エコアクション部門は△、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門については○と評価しました。

全体的には職員の環境意識が高まりつつあることを評価します。

エコアクション部門では、電気使用量、ガソリン・軽油使用量および廃棄物排出量の目標については達成されていたものの、紙類のグリーン調達率およびコピー用紙の使用量の 2 項目において目標の達成に至っていませんでした。

紙類のグリーン調達率については、目標値の 97.6%に対し 1.3 ポイント及ばず、その原因は、特に量の多い税関係の用紙等でグリーン非適合の特殊用紙が当初の見込み以上に多かったのが原因でした。より正確な実態を把握できたこと、また非適合品の中から適合品への転換を図る等により、改めて 97.6%に挑戦し、今年度の達成を期待します。

コピー用紙の使用量については、A4 サイズ換算で 418.8 万枚の目標値に対し、509.5 万枚の使用実績でした。主要因は、財政面の理由により、外注印刷から庁内印刷への転換が進んだことによります。

共用部分等、難しい面もありますが、部署別の使用量把握ができないかご検討いただき、より詳しい実態分析のもと有効な削減対策を講じられることを模索してください。

一方で、電気の使用量や廃棄物の削減に関しては、平成 20 年度からの新庁舎完全稼働に伴う増加が予想されたにもかかわらず、電気使用量については見込み量よりも増加を抑え、廃棄物については“捨てるはいけないもの”の写真閲覧や回収拒否などにより周知を徹底し目標値を大きく上回って達成できたことは、職員の努力の表れといえるでしょう。

ただし、今後は、より有効な対策を講じていくためにも、部署別の把握が可能になるようなハード面（電力量計測器や計量器など）での下地の整備もご検討下さい。

エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門では、目標が達成されていました。

しかし、回数だけにとらわれず、質的な面を意識しつつ、取り組まればより実りのある取組になると思われます。

部署毎に自主性をもって取組を進められるようなガイダンス、住民へのわかりやすい情報の公開等を意識しつつ、取組を継続されることを望みます。